

満員盛況、作品内容も高い評価 OMC映像フェスティバル無事終了

今年のOMCフェスティバルは去る11月28日(日)13時30分より開催されましたが、予想以上の観客を集めて盛会でした。作品内容も例年以上に充実していて、観客の評価もまずまずでほっとしました。これもひとえに会員諸氏のご努力が結実したものと存じます。久々の有村さんのヒューマンドキュメンタリー作品も全体の評価を引き上げた要因ではなかったかと思えます。来年は記念すべき40回目の節目、今年以上によい作品を並べたいものです。西暦2000年は、更なる飛躍の年であってほしいと願わずにはおられません。

■全国コンテストの入賞おめでとうございます

- ・玄光社CFCサロン全国映像コンクール
 入賞「ご苦労さん」、合原さん。
 (旅コンを発展させ今年から新しく始まった玄光社の全国映像コン)
- ・第14回国民文化祭ぎふ'99映像祭コンテスト
 フリーイメージ部門佳作賞「MIND SPACE」、有村さん。
- ・せとうち映像祭'99ビデオコンテスト
 審査員特別賞「三味画の世界」、有村さん。

12月例会と研究会のお知らせ

12月に限って例会は第3土曜18日18時～となりますので、お間違いのないよう願います。今年最後の例会です。二次会も含めて楽しいひとときを過ごしましょう。作品もどうぞお持ちください。作品研究会は同日13時(世話役会が16時から行われますので、30分早めにスタート)より。主テーマは御堂筋と彫像です。4分程度までにまとめて持参ください。一般作品も時間の限り上映します。

ミニ撮影会と作品研究会のレポート

11月27日（土）作品研究会の研究課題に、御堂筋の彫像といちよう並木をテーマに撮影会を開催したところ、予想以上の15名の参加があり、皆熱心に撮影に取り組みました。丁度黄色く色づいたいちよう並木は絵になる風景で、歩道に設置されている彫像のバックとしてかっこうの被写体となりました。

この日撮影された映像は早速午後の研究会に一部上映され、ほかの人の撮影の仕方、アングル等大変勉強になったようです。この彫像をメインにした映像は各自編集の上、12月作品研究会にお持ちください。またこの日撮影できなかった人も御堂筋がテーマなら作品お持ち下さい。時間は4分程度以内とします。

研究会では上記御堂筋映像のほか、会長が撮影した「りんくうタウンの彫像」の夕景と夜間（観覧車のネオンがステンレス鏡板に写っていて美しい光模様を描いている）のテープを参加者全員にダビングしてもらい、この映像の一部を使って各自撮り足して、1月研究会の課題とすることにしました。当日ダビングしなかった人でテープをご希望の方は会長まで電話してください。研究会参加者は14名、有村さんの「恋の遊戯」、森田さんの「御堂筋の住人達」も出品され、有意義のうちに5時過ぎに一旦休憩となり、夜の例会の部へと引き継ぎました。

11月例会のレポート

研究会から引き続いての例会では、久方ぶりの岩井さん、山口さんが元気な姿を見せられました。司会：有村さん、書記：関さん、デッキ係：奥さん、受付：増池の担当にて会を進行しました。

■出席者：増池、那須、安居夫妻、合原、奥、江村、有村、今井、中尾、上総、岡本、前田、高田、松本、関、岩井、藤原、森下、森田、森、華岡、山口の23氏に見学者山本嘉明、以上24名（敬称略）。

■上映作品（今月の短評は関世話役です）

1、四天王寺ワッツ 10分30秒 増池 茂さん

行列を作品にまとめるのは難しい、と司会者の言葉。同感です。ところが四天王寺ワッツは京都の時代祭などと違っておなじ行列でも比較的動きがあり、とくに銅鑼、鐘、太鼓を叩きながら走りまわる少女たちは絵になりやすい被写体。ただ記録なら別ですが、始まりや終りのセレモニーはできるだけ省略するよう心掛けてください。

2、初夏の立山、黒部アルペンルート 8分30秒 那須典彦さん

地鉄立山から黒部ダムまで。至る所に残雪を見る雄大な風景をいつものように安定した映像で見せてくれます。好天に恵まれたのはなにより。

3、夜、明石海峡大橋 5分30秒 安居良枝さん

夜間のイルミネーションを撮るためご子息の車で淡路サービスエリアへ。しかし「対象があまりにも巨大で撮りようがない。こんなものを題材にすることが間違いだった」と自虐的ナレーション。ところが転んでもただで起きないのがこの作者の持ち味。普通なら没になるところですが、失敗映像をその体験談としてみごとに作品化されています。これは私たちも見習うべきでしょう。

4、インターネット 7分20秒 安居利次さん

この5年ほどで映像づくりの環境がすっかり様変わりしたのはご承知のとおり。現在わがクラブのおよそ半数が家にパソコン備え、そのうちの約半数がノンリニアで作品を作っていると聞きます。前月のニュースにもあるように、この道の先駆者の前田さんがHPを開設してOMCの活動や会員作品を載せ、広く一般に解放するボランティアを始めました。すばらしい事です。作者が言う「波に乗らないととり残される…」の焦りは私にもありますが、歳とともに減り続ける頭の細胞がパソコンアレルギーをひき起こしています。そのうちに「とり残される」のは間違いないでしょう。モニターを見ながら 自在にマウスを操っている人を見ると羨ましい気がします。

5、ルーマニア紀行 12分20秒 合原一夫さん

ブカレストと言えばチャウシェスク夫婦が群衆に捕らえられ即刻銃殺されたテレビの生々しい光景が思い出されました。これまでの海外旅行のように民衆の生活に向けたカメラではなく今回は風景が主体。旅行社が募集するツアーにルーマニアへ行くのはまだ少なく、それだけに興味深く拝見しました。

6、飛鳥の里散策 6分20秒 奥 宏さん

先月の「秋花咲く飛鳥の里逍遥」から秋花咲くを削除して、同義語ですが逍遥を散策に変えたもの。本編は少々長くなっていますが、どこが変わったのかよく分かりません。いずれにしても常に人の多い場所、よくこれだけ人を避けて撮れたものと感心しました。

7、祭禮 4分04秒 江村一郎さん

一昨年12月例会に出された夜の「河内の秋祭」を再編集したものでしょう。そのときは祭のあとの空虚感が足りないと言われたそうで、改めて撮りに行ったけれど綺麗に片づけられていて、それらしいものが見当らなかったという作者の説明でした。しかし祭りそのものより、賑わう参道に目をむけたあたりはさすが江村さんだと思います。

8、マウスとキーの時間 5分28秒 有村 博さん

30秒のテロップを作るのに3時間。その他のタイトルもふくめると約半日を費やした。というナレーションに始まって、そこにまたパソコンが加わり作者の悪戦苦闘ぶりを描いています。しかし一応使いこなしている姿をみると、やっぱり機械に強い人なんだと思いました。最近アドビプレミアの研究もされているとか、いよいよノンリニアですね。

9、ふれあいスポーツフェア 10分20秒 今井羨美さん

東淀川区内の老人クラブの運動会。颯爽とはいかないまでも皆さん結構楽しそうでした。べつに規制があるわけではないでしょうから、もっとカメラが近くに寄るなり、輪の中に入って行けばさまざまな表情が撮れただらうと思います。その点が残念。

10、天神祭 5分 中尾雅博さん

軽快な龍踊りのリズムにのせて、天神祭のメインとなる場面がカットバックでつぎつぎに現れる斬新な編集技術、これには参りました。ただ画面の右側全体に始終ノイズが出るのはなぜでしょう。いちど調べてみてください。ラストで群衆の中に二人の会員の顔が合成されて出てきたのは単な

るお遊びでしょうか。

総会兼新年会のお知らせ

恒例の新年会を、今年は総会を兼ねて昨年の会場と同じく大阪ミナミの法善寺横の「さと」にて下記のとおりで開催いたしますので、どうぞご参加ください。年の初めにあって和気藹々楽しく懇親の輪を上げましょう。

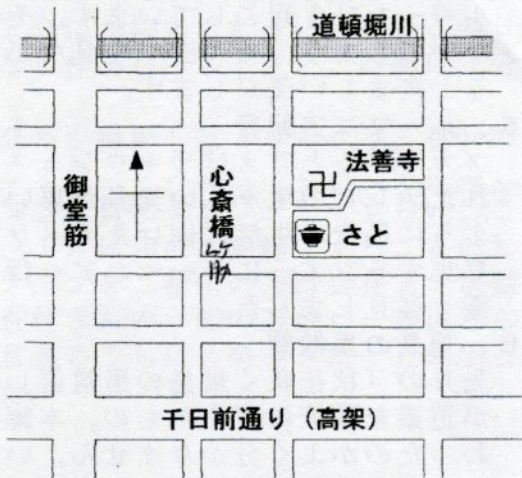
日時：平成12年1月9日（日）18時～

場所：「さと・法善寺店」

TEL 06-6211-6481

会費：6,000円（出席予定者で当日まで連絡なく欠席された場合は全額会費をいただく場合があります。）

出欠：年内までに、同封ハガキにて出欠を会長宛に送ってください。



■お知らせ

・郵便番号訂正のお知らせ 合原一夫 旧565-0085→新560-0085局新設のため

560-0085が正しい番号です。先月号で間違っ（560-2285）と書きましたので訂正をお願いいたします。

・枚方・寝屋川地区の電話番号変更のお知らせ

旧 0720-**-**** → 新 072-8**-****
と0が抜けて、8が入ります。

■先月の例会作品をインターネットで発信

先月号で情報化の時代への対応策として、インターネット上にOMC例会作品を紹介することを発表しましたが、その第一弾作品として奥博さんの「飛鳥の里散策」？を載せました。下記のような要領で紹介しています。パソコンを持っておられる方はご覧になってください。

OMCのURLは：<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/> です。

OVCのURLも：<http://www.os.xaxon.ne.jp/~fujihara/> です。

合わせてご覧ください。

今月の例会作品介绍

「飛鳥の里散策」奥博作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	650KB 6分11秒
1			